

案件概要書

2013 年 12 月 24 日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

1. 案件名（国名）

国名：タンザニア連合共和国

案件名：ニューバガモヨ道路拡幅計画フェーズ 2（The Project for Widening of New Bagamoyo Road Phase 2）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸・交通セクターの開発実績（現状）と課題

ダルエスサラーム市は人口約 436 万人（2012 年センサス）を抱える経済都市であり、インド洋に面する天然の良港を有することから、タンザニア連合共和国全体の交通の要衝であることに加え、内陸諸国にとって国際回廊の起点として重要な役割を担っている。当国はこれまで幹線道路、州道路等の整備・維持管理を進めてきているが、3% 台の人口増加率を上回る年率 7%（2001 年～2010 年の平均）の自動車登録台数の増加から、幹線道路の交通渋滞は年々悪化し、ダルエスサラーム市及び当国の経済活動を阻害している。特に、居住エリアが拡大しつつある市の北部から、市内に直結する幹線であるニューバガモヨ道路は、ダルエスサラーム市内幹線道路において唯一 2 車線（片側 1 車線）道路であり、その渋滞は深刻である。無償資金協力「ニューバガモヨ道路拡幅計画」においてムウェンゲーテゲタ区間（12.9km）の 4 車線化に取り組んでいるが、同区間から市中心部に繋がるモロッコムウェンゲ区間は未だ 4 車線化されておらず、同市の都市交通におけるボトルネックとなっている。

(2) 当該国における運輸・交通セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

2005 年にフェーズ I、2010 年にフェーズ II が策定された「成長と貧困削減のための国家戦略（National Strategy for Growth and Reduction of Poverty、スワヒリ語で「MKUKUTA」）」において、運輸・交通セクターは優先セクターとして位置づけられ、毎年国家予算の 15% 近い予算が同セクターに配分されている。また、運輸・交通セクターの包括的な戦略書である「運輸・交通セクター投資計画」（Transport Sector Investment Programme: TSIP）フェーズ 2 が 2012 年に策定され、道路分野は最大の投資分野とされている。都市交通の改善は TSIP の優先事項であり、本事業は都市交通改善事業として位置づけられる。

(3) 運輸・交通セクターに対する我が国の援助方針

我が国の対タンザニア国別援助方針（2012 年 6 月）では「経済成長と貧困削減を支えるインフラ開発」を重点分野としており、運輸・交通セクターに対する援助方針は同分野中「運輸・交通網整備プログラム」の中に位置づけられ、無償資金協力、技術協力、有償資金協力等を組み合わせながら支援を実施している。また、2008 年度に開

発調査「ダルエスサラーム総合都市交通体系策定調査」が実施され、同調査結果において、本事業は最優先の計画の一つとして提言されている。

(4) 他の援助機関の対応

セクターワイドアプローチを通じたセクター戦略策定の支援をドナーグループとして実施しており（我が国は議長国）、併せて道路整備プロジェクトとして、世界銀行による高速バスレーン（Bus Rapid Transit:BRT）整備支援等が進行中である。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、ダルエスサラーム市において、ニューバガモヨ道路対象区間（モロッコームウェンゲ間の 4.3km）の拡幅を行うことにより、同道路の渋滞緩和を図り、もって同市の円滑な交通・物流の確保に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ダルエスサラーム市（人口約 436 万人）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

中央分離帯付片側 2 車線道路の整備。側道及び将来計画の BRT を考慮した設計含む。

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工監理

(4) 事業実施体制

実施機関となる建設省（Ministry of Works）及びタンザニア道路公社（Tanzania National Roads Agency:TANROADS）は、過去の無償資金協力案件において十分な実施・維持管理能力を有していることを確認しているが、最新の状況について協力準備調査にて確認する。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2004 年 4 月公布）に掲げる道路セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

③ 環境許認可：協力準備調査にて確認する。

④ 汚染対策：協力準備調査にて確認する。

⑤ 自然環境面：協力準備調査にて確認する。

⑥ 社会環境面：協力準備調査にて確認する。

⑦ その他・モニタリング：協力準備調査にて確認する。

2) 貧困削減促進：特になし。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：特になし。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：実施中の無償資金協力「ニューバガモヨ道路拡幅計画」（ムウエンゲーテゲタ区間：12.9km の 4 車線化）に隣接する区間を 4 車線化することで、開発効果の拡大が見込まれる。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

タンザニア国道路事業の評価では、想定以上の降雨や車両数の増加により、舗装や盛土区間が損傷した例がある。

(2) 本事業への教訓

当該地域は短時間に降雨が集中することから盛土区間や勾配区間においては排水対策の十分な検討が必要である。また、計画交通量、舗装構成などの設計条件を、実施機関との間で十分に確認して設定することが重要である。

以上

〔別添資料〕 地図

【タンザニア国 ニューバガモヨ道路フェーズ2 地図】

